

第 13 回議会改革推進協議会 協議概要

- 1 日 時 平成 26 年 6 月 2 日（月）午前 10 時 1 分から午前 10 時 42 分まで
- 2 会 場 議会棟 3 階 第 2 委員会室
- 3 出席者 （委 員）宇留間委員長、福谷副委員長、
小川委員、川岸委員、川村委員、小松崎議員、
近藤委員、佐々木（久）委員、宍倉委員、白鳥委員、
段木委員、中村委員、福永委員、湯浅委員、米持委員
（※下線は代理出席）
（事務局）大木事務局長 他 14 人
- 4 傍聴者 （議 員）山田議員
（一般傍聴者）5 人
（記 者）5 人

5 協議事項及び協議結果

（1）第 12 回の協議概要について

資料を配付した後、委員より「発言した意見の一部が記載されていない」との指摘がなされた。委員長より、検討結果をまとめた報告書の段階で精査する旨の発言があり、了承を得た。

（2）議員定数について

前回、正副委員長より示された「第 2 回定例会で、議員定数を 4 人減員し 50 人とする提案」について、会派での検討結果を聴取した。

了承するとの会派が 5 会派、了承できないとの会派が 2 会派であった。

全会派の合意には至らなかったが、大方の会派の了承が得られたため、第 2 回定例会で、議員定数を 4 人減員し 50 人とする条例案を提案することを決定した。

（3）5 分科会審査の検証について

（5 分科会審査に関するアンケートの集計結果について）

5 分科会審査の検証を行うためアンケートの集計結果を配付し、意見を聴取した結果、主な意見として、

- ・アンケートの集計結果と現状の審査方法との違いを踏まえ、方向性を出されたい。
- ・アンケートの集計結果は熟慮すべきものであるが、審査方法を見直すのであ

れば1、2年かけて見直すべきである。

- ・アンケートの集計結果により結論を出すのではなく、この結果を踏まえ議論すべきである。

などの意見が述べられ、次回の会議で、アンケートの集計結果を踏まえ協議し、導かれた各会派の意見を斟酌し、審査方法の方向性を見出すこととなった。

(4) 次回の開催日程について

第14回協議会は、平成26年7月28日(月)午前10時から開催することとなった。